

「聖霊と教会」

コリント人への手紙第一 12章1節～31節

はじめに

聖書は、三位一体の神、つまり、父なる神、子なる神、聖霊なる神を教えています。父なる神は、御子なる神イエス・キリストがこの世でのみわざを終えて後、聖霊なる神をこの世にお遣わしになりました。このことを記念するのがペンテコステです。ペンテコステは、ユダヤの過ぎ越しの祭りから50日目にあたり、この日に聖霊が降ったので、ペンテコステと言われています。

今日は、聖霊について、特に「聖霊と教会」について学びましょう。

1. ひとつのからだとなるように、ひとつの御霊によってバプテスマを受けた（13）。

キリスト教信仰の特徴の一つは、信じる者はみな「教会」に入ることです。教会とは何でしょう。教会は建物ではありません。教会と訳されていることばの原語は、エクレシアと言います。それは「呼び出された者」という意味です。神によって呼び出された者たち、それが教会です。ですから、教会は「神の家族」です。教会で人々がお互いを「兄弟・姉妹」と呼ぶのは

そのためです。教会は、神の家族です。教会は「神の民」でもあります。私たちの国籍は「天」にあります。神の国の民です。

教会は、神の宮でもあります。この宮は、建物ではなく、私たちです。教会は、「キリストのからだ」でもあります。これは、教会が一つであること、しかもいろいろな部分からできている事を示しています。

私たちは、キリストを信じるときに、罪を赦され、神の子どもとなります。それは、神の家族に、神の民の中に生まれるということです。それは聖霊のバプテスマを受けて、「ひとつのからだになったのです。ユダヤ人もギリシャ人も、奴隷も自由人もみな「ひとつのからだになる」ためです。クリスチャンになる

ことは、このように聖霊によって「教会」に加えられることなのです。教会によって、私たちは育てられていくのです。

2. 教会における聖霊の働き

では、聖霊は教会においてどのように働かれるのでしょうか。

(1) 聖霊が信徒を生みだし、教会を形成する。

これは、神様が、「聖霊のバプテスマ」によって人々を教会に加えてくださることです。イエス様は、弟子たちに、全世界に出て行って人々に福音を伝えるようにお命じになりました。弟子たちは、命令に従って、全世界に福音を伝えました。今日も同じです。でも、人に信じる信仰を与え、救いに導き、教会に加えるのは、聖霊の働きなのです。

(2) 聖霊が教会を整える。

聖霊は、教会に賜物をお与えになります。その第一は、牧師・教師をお立てにな

ることです（Ⅰペリ 4:11）。それは、「聖徒たちを整えて、奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためであり」とありますが、牧師は信徒を整えて、奉仕の働きをさせて、教会を建て上げます。

教会を建て上げるために、神様は信徒に、聖霊の賜物をお与えになります。すべての信徒は、何らかの聖霊の賜物が与えられています。「自分にはどのような賜物を与えられているのか」を見極め、その賜物を用いて主に奉仕しましょう。

さらに、「ついに、私たちがみな、信仰の一致と神の御子に関する知識の一致に達し」とありますが、聖霊は、私たちを一致へと導かれます。年齢、生別、人種、教育、育ち、性格など、違いの多い私たちを一つにするのは聖霊です。「御霊の一致を熱心に保ちなさい」（Ⅰペリ4:3）。聖霊の働くところに、教会の一致が生まれるのです。肉に従って歩むならば、教会の一致は崩れます。

（3）聖霊が教会を治める。

聖霊は、教会に長老を立て、群の監督として、群を養ってくださいます（使徒 20:28）。教会は、だれによって治められるのでしょうか。それは、長老たちによつてです。長老教会は、教会は、牧師一人によつてではなく、また信徒たちによつてでもなく、長老たちによつて治められると信じています。長老たちが、教会の責任を担うのです。

長老たちには、次のように勧められています。「あなたがたのうちにいる、神の羊の群を、牧しなさい。強制されてするのではなく、神に従って、自分から進んでそれをなし、卑しい利得を求める心からではなく、心を込めてそれをしなさい。あなたがたは、その割り当てられている人たちを支配するのではなく、むしろ群の模範になりなさい。そうすれば、大牧者が現れるときに、あなたがたは、しぼむことのない栄冠を受けるのです」（Ⅰペリ 5:2-4）。

3. 私たちに求められていること

（1）教会につながること。

最初に、お話ししましたように、私たちは、イエス・キリストを信じたときに、「キリストのからだである教会」に入れられました。これは、永遠の、すべての信徒からなる教会です。それと同時に、私たちは「地域教会」の一員に加えられます。

信徒は、ひとりでは、健全に成長出来ません。教会なしに信仰を続けようとするれば、信仰がひとりよがりになり、また、キリストに仕えることもできません。ひとりで聖書を読んでいれば、良いように思うかもしれませんが、それは、「とじこもり信徒」となり、奉仕や伝道という運動ができないために、肥満信徒、不健康信徒に陥りやすいのです。

神様は、私たちのために、教会を用意してくださいました。ですから、教会の礼拝、祈禱会、その他の集会、各会など教会の活動や交わりに積極的に参加することが大切です。

（2）聖霊の助けを求めること。

次に、「聖霊の助け」を求めましょう。私たちは、全知全能の神を知りました。

私たちが救うために十字架にかかっ てくださいるほど、私たちが愛してくださるイエス様を知りました。そして、「助け主・聖霊」を与えられたのです。

聖霊は、ペンテコステの日にキリスト信徒に降りました。その日から、キリストに代わる助け主として、働いておられます。では、聖霊はどこにおられるのでしょうか。イエス様は、こう言われました。「わたしは父にお願いします。そうすれば、父はもうひとりの助け主をあなたがたにお与えになります。その助け主がいつまでもあなたがたと、ともにおられるためにです。その方は真理の御霊です。世はその方を受け入れることができません。世はその方を見もせず、知りもしないからです。しかし、あなたがたはその方を知っています。その方はあなたがたとともに住み、あなたがたのうちにおられるからです」（ヨハネ14:16-17）。御霊は、私たちとともに、私たちのうちにおられます。感じることは出来ません。信仰によって知るのです。

使徒パウロは、「御霊も同じようにして、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、どのように祈ったらよいかわからないのですが、御霊ご自身が、言いようもない深いうめきによって、私たちのためにとりなしてくださいます」（ロマ 8:26）。

どんなときにも、聖霊の助けを求め、神様によって、問題を解決していただきましょう。

(3) 聖霊に満たされること。

使徒パウロは、「御霊に満たされなさい」と勧めました（Ⅰペリ 5:18）。御霊に満たされるとは、御霊にすべてを委ね、服従することです。自分の思いや考えではなく、神様ののみこころを受け入れるのです。御霊の満たしを妨げるのは、自分中心の考え、自我です。それは、打ち砕かれなくてはなりません。

結論

ペンテコステに、聖霊がお出でになり、私たちがキリストの救いに導き、教会に加入させ、教会の中で私たちを養い、育ててくださることを学びました。

ですから、キリストのからだの一員であることを深く自覚し、御霊の助けを求め、常に御霊に満たされて進みましょう。